

『「医療の協働体」 ～ 心優しく、俯瞰的な大局観のある人物の育成 ～』

2023 年 3 月 8 日 久しぶりに御茶ノ水を散策した。御茶ノ水には、順天堂大学病院、東京医科歯科大学病院、日本大学病院、杏雲堂病院（佐々木研究所）、さらに 明治大学、駿台予備校、『お茶の水メディカル・カフェ OCC』（添付）もある。佐々木研究所の初代所長は 佐々木隆興(1878-1966)で、第 2 代所長は 吉田富三(1903-1973)である。吉田富三は、東京帝国大学医学部卒業(1927)後、1929 年佐々木研究所に入所、佐々木隆興の指導の下、ラット肝臓癌作成に成功した。そして、1952 年東大教授、1953 年佐々木研究所長、1963 年癌研究会癌研究所長に就任している。筆者は、2003 年 癌研究会癌研究所の部長から順天堂大学医学部の教授に招かれた。今年、吉田富三記念館から『吉田富三博士没後 50 年・生誕 120 年記念事業』記念誌が発行され、筆者はその寄稿の機会が与えられた。

【がんが、国民病となった現在、最終的には日本の医療を変える『事前の舵取り』は『メディカルタウン』の姿に示されるであろう。『メディカルタウン』は街全体がメディカルな街。例えば城下町とか。かつて、城下町には天守閣（この場合、大学病院など）があって、その城下にはお店とかあらゆる施設がある。そのようなイメージである。患者の視点に立ったホテルを作ったり、レストランを作ったり、本屋を作ったり、例えば、喫茶店があったら、学生が来たり医者が来たりして、たまり場が出来る。そこで『がん相談』（添付）も行えばいい。】また、【『医療の協働体＝1 人の人間を癒すには、1 つの村が必要である＝メディカルビレッジ』であろう。『メディカルビレッジ構想』は、『医療維新』の事前の舵取りになろう。『メディカルタウン』と『メディカルビレッジ』の違いは、大学病院などの大病院の有無である。】と語ったものである。

2003 年『われ 21 世紀の新渡戸とならん』を発行し、『メディカルタウン』も提唱したが、今回、鮮明に思い出された。そして、2016 年『日本地域医療連携システム学会』と『日本 Medical Village 学会』を設立した。『ユーモアに溢れ、心優しく、俯瞰的な大局観のある人物の育成訓練の場』でもある。『医療維新の事前の舵取り』の実践の歴史的な一步になれば幸いである。『歴史は人知を超えて、淡々と、ゆっくりと前進する』のを痛感する日々である。

<がん哲学外来>

お茶の水メディカル・カフェ in OCC

開催予定: 下記は予定であり日程は変更する
可能性があります。

*参加の際は必ずお申し込みをお願いいたします。
(新型コロナウイルスの感染防止のため、
定員 35 名と限定させていただきます)

2023年

- | | |
|--------|------------------|
| 第 14 回 | 1月 7日(土)13:00~ |
| 第 15 回 | 2月 25日(土)13:00~ |
| 第 16 回 | 3月 18日(土)13:00~ |
| 第 17 回 | 4月 22日(土)13:00~ |
| 第 18 回 | 5月 20日(土)13:00~ |
| 第 19 回 | 6月 17日(土)13:00~ |
| 第 20 回 | 7月 15日(土)13:00~ |
| 第 21 回 | 8月 19日(土)13:00~ |
| 第 22 回 | 9月 16日(土)13:00~ |
| 第 23 回 | 10月 21日(土)13:00~ |
| 第 25 回 | 11月 18日(土)13:00~ |
| 第 26 回 | 12月 16日(土)13:00~ |

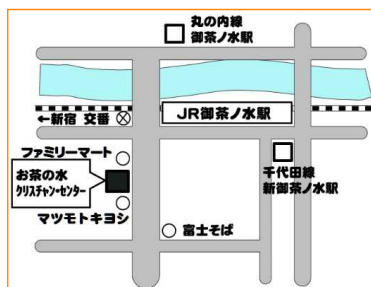


順天堂大学名誉教授
一般社団法人がん哲学外来名誉理事長
新渡戸稲造記念センター長
恵泉女学園理事長
樋野 興夫

新型コロナウイルス感染症対策 についてのご協力とお願い

マスク着用、検温、手指の消毒に
ご協力をお願いいたします。定期的
に換気をさせていただきます。

会場: お茶の水クリスチャン・センター



<参加費無料・必ず事前にお申し込みください>

お申込み方法: mail 若しくは FAX でお申し込みください。

Mail: occmedicalcafe2021@gmail.com

Fax: 03-3296-1010

*お申込み時に必ずお名前と当日に連絡のつく
お電話番号をお知らせください。

*各回とも開催日の3週間前からお申し込みを受け付けております

主催: お茶の水メディカル・カフェ 共催: お茶の水クリスチャン・センター
後援: 一般社団法人 がん哲学外来